

の聖賢を誇りつゝある。過般の英口總選挙に於ても共

産党は零敗の苦杯を嘗めてゐるではないか。

眞に大衆を率ひ、将来理想社会の建設と既成政党的打倒を叫ぶの資格と實力を有つもの、それは吾が社会民衆党である。

今や民衆の怨府反動息田中政友会内閣は國民大衆糾弾の圧力によつて、窒息し、決口内閣の出現を見た。

遮莫決口民政党内閣と雖も、吾党及び無産國民にとりては政友会と同じく共同の仇敵であらねばならぬ。

吾等は此の永き方針書を結ぶに當りて、各支部幹部及議員諸君が各支部最前線に起つて今後一層の勇取なる闘争を展開せられんことを希望する。

昭和四年七月十六日、

社会民衆党九州聯合會

第二回常任執行委員会



# 聲明書

吾黨は、眞に階級主義を棄つて、日本大衆党(日労党)と提携し、田中政友会を打倒するの爲め、合流を衷心より歓迎するものである。

今日までの吾國は階級解放運動の途程を、其の矯激な標榜として、革命理論に依つて構想した左翼及び口に階級運動の正途を説き、何れ一党の指導精神を掲げた右に往き、左に走り、其の醜態を露呈し、正視するに堪へざる戦線破壊の事柄を中間派(日本大衆党及民衆党の如し)は社会進歩の必然的軌則として、聡明なる判断によつて、今や其の眞実なる姿を、露骨に曝すに到つた。